

「バンコマイシンの薬物血中濃度モニタリング解析の運用変更に伴う抗菌薬使用適正化の評価」に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「バンコマイシンの薬物血中濃度モニタリング解析の運用変更に伴う抗菌薬使用適正化の評価」を行うことになりました。

この研究の目的は、抗菌薬TDM臨床実践ガイドラインの改訂に伴う当院でのバンコマイシンの初回投与設計およびTDM（薬物血中濃度モニタリング）解析の運用の変更が、治療効果や有害事象の発現にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2021年4月1日より2023年3月31日までに治療した方の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのはバンコマイシン点滴静注用で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（バンコマイシンの血中濃度や生化学的データなど）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年6月

研究責任者

東京医療センター 薬剤部

武内 惇乃

連絡先 03-3411-0111(代表)